

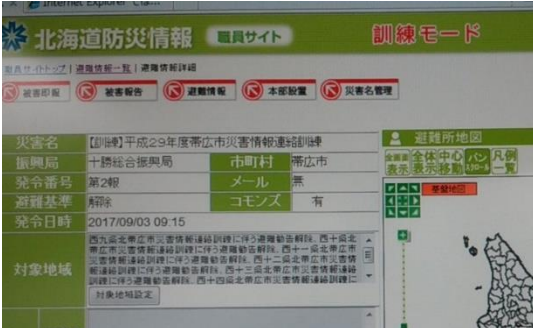
【北海道】平成28年台風10号での経験を踏まえた訓練を実施しました

- 帯広市において、平成28年台風10号の経験を踏まえ、災害に強いまちづくりの基本である「自らの命は自らで守る」の観点から、減災対策協議会構成機関と連携した防災訓練を実施
- 訓練では広報車、緊急速報メール、Lアラート等を活用した避難情報の発信、水中歩行体験などの訓練や、水害対応資機材の展示等を実施

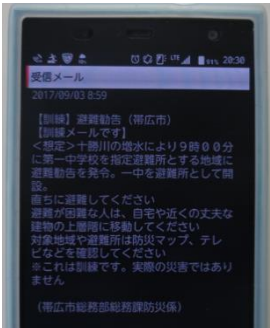
訓練概要

実施日：平成29年9月3日
 実施場所：帯広市立第一中学校（帯広市西13条北7丁目1）
 主催：帯広市、啓北連合町内会
 参加機関：十勝総合振興局、とかち広域消防局、帯広開発建設部、陸上自衛隊第5旅団第4普通科連隊、帯広測候所、日本赤十字社帯広市地区奉仕団
 参加人数：約600人

●避難情報発信訓練



Lアラートによる情報配信(訓練モード)



緊急速報メールの訓練配信

●体験訓練等



水害体験訓練(水中歩行体験)

水中歩行体験により、
濁った水の中を歩くこと
の危険さがわかった



防災講話(水害への備え)

●展示コーナー



排水ポンプ車展示(帯広開発建設部)



救出ボート展示(帯広警察署)



水害パネル展示

見て覚え、実際に体験
して見て、今後役に
立てられそう

訓練は必要。命を守るための
防災意識を高めていきたい